審査員賞 （優秀賞）

＜稲葉茂勝選＞

名前：伊波　和さん

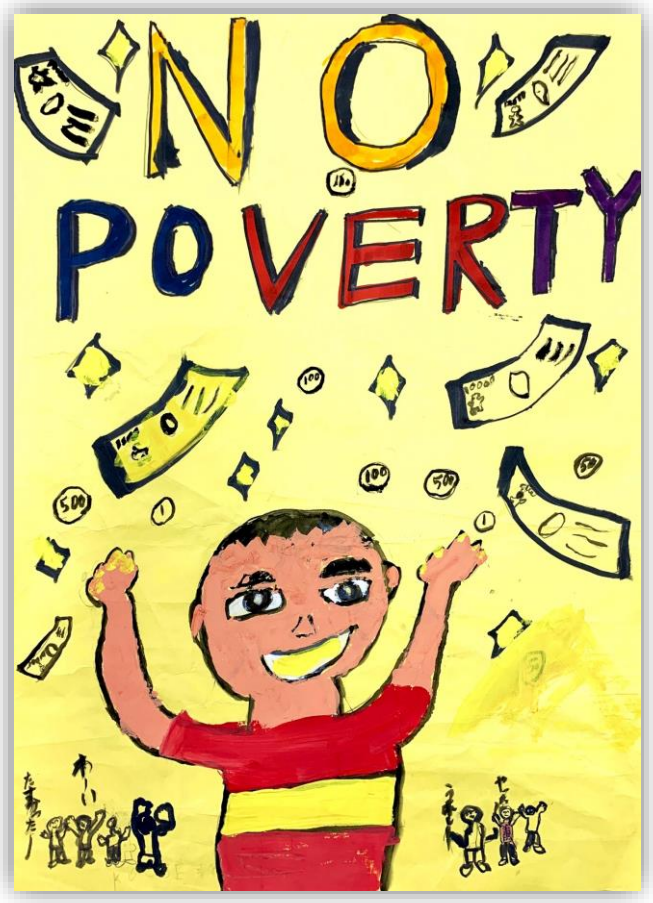
（沖縄県西原町　小学校5年生）

受賞をうけて：

　入賞と聞いた時は、驚きました。初めて絵（ポスター）の賞をもらったので、とても嬉しかったです。ジェンダー平等の実現につながったらいいな、と思います。

　初めてSDGｓのことを聞いた時、「ジェンダー平等の実現」のポスターをかこう、とすぐに決めましたが、どのように表現すればよいか迷いました。トイレのマークをヒントに性を表現しました。また、いろんな色を使うことで、いろいろな人を表現することができたと思います。

審査員賞 （優秀賞）



＜片岡輝選＞

名前：中山　幸星さん

（長野県佐久市　小学校5年生）

受賞をうけて：

「貧困をなくそう」という言葉を聞いても何のことかイメージが持てませんでした。SDGsを学ぶなかで、「貧しい人にもお金が与えられたらといい」「裕福は強くてえらそう」そんなイメージを絵にしました。

どんなことを描けばいいのか悩みながら取り組んだので、入賞したと聞いてとても驚きました。僕のメッセージがたくさんの人に届いてほしいと思っています。

審査員賞（優秀賞）

＜きむらゆういち選＞

名前：福田　羽唯さん

（東京都国立市　小学校4年生）

受賞をうけて：

　私は、入賞できてすごくびっくりしています。

12番を描いた理由は、みんなが出来そうなことだからです。

　工夫したところは、紙をクシャクシャにして貼ったりよごれているかんじの色を付けたりしたところです。ポスターが2030年までの目標達成のきっかけになってほしいと思って描きました。2030年までに目標を達成できるようにみんなで協力してやっていきたいと思いました。

審査員賞 （優秀賞）

＜国立市教育委員会選＞

名前：小笠原　舞南さん

（沖縄県竹富町　小学校5年生）

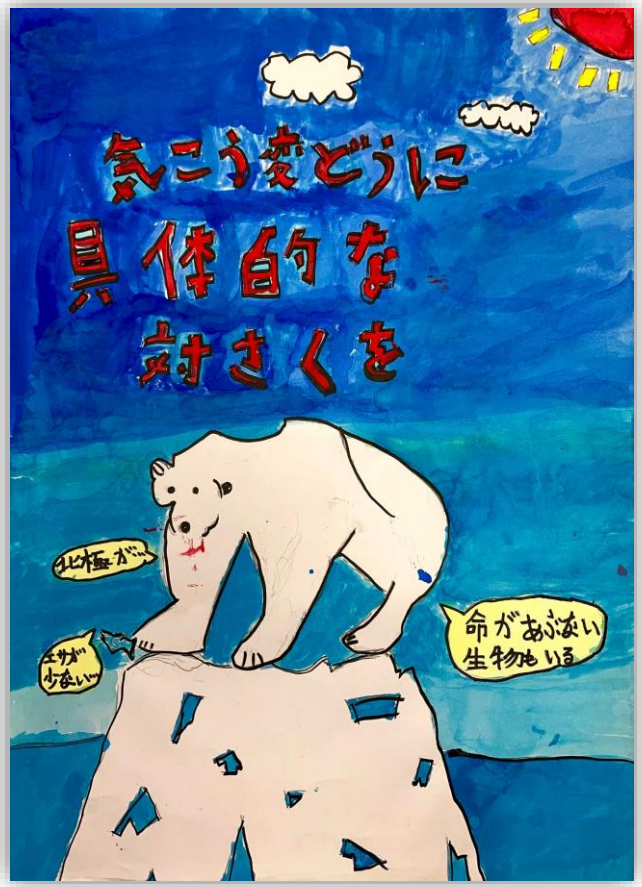
受賞をうけて：

先生に、受賞の話を聞いて「よし！！」と思いました。急いで家に帰り、お父さんとお母さんに話し、ニコニコで拍手をしてくれました。

世界には、たくさんの動物、植物があります。今回は、自分の島にいる生物、「アカショウビン」や「オオゴマダラ」を描きました。

私のポスターで、まず身近な生物から守っていき、共に生きていければうれしいです。

審査員賞 （優秀賞）



＜国立市長選＞

名前：佐藤　一期さん

（東京都国立市　小学校4年生）

受賞をうけて：

　入賞できてとてもうれしいです。

ありがとうございます。

三年生から学校でSDGｓを通して地球温暖化の問題を勉強しました。

ぼくのポスターは氷河がとけ始め、狩りができず、うえ死にするホッキョクグマをへらしたいという思いで書きました。

ぼくのポスターで、一頭でも多くのホッキョクグマが生きてくれればうれしいです。

審査員賞（優秀賞）

＜千葉均選＞

名前：連城　美空さん

（宮崎県宮崎市　中学校2年生）

受賞をうけて：

　このポスターが審査員賞に選ばれてとてもうれしいです。私はこのポスターを約一週間ぐらいかけて完成させました。筆以外にも、アルミホイルなども使って描きました。
　私が描いたものは、いま世界中が掲げているSDGsという17の目標のポスターです。中でも「陸の豊かさを守ろう」とう目標のポスターです。
なぜ、私がこのポスターを作ったかというと、自然を守って欲しいと思ったからです。自然の大切さ、命の大切さ、を皆さんに知って欲しいと思いました。ポスターには、森林伐採の様子を描きました。どんなポスターを作ろうと悩んでいた時、木を切っているところを見かけ、心が痛んだ事を思い出しました。それで、森林伐採の様子を描こうかなと思いました。
　また、最近、家の前のツバメの巣が落とされているのを思い出しました。だから、木から落ちてけがをしたひな鳥を描きました。誰か一人でもこのポスターを見かけてポイ捨てをしないとか、ちょっとでも行動を変えてくれたらとてもうれしいです。私のポスターが環境保護の架け橋となれたのなら、それはものすごくうれしいことです。

審査員賞（優秀賞）

＜津久井恵選＞

名前：小柴　むさしさん

（東京都国立市　小学校4年生）

受賞をうけて：

すばらしい賞に、選ばれたこと、とてもうれしいです。ぼくはポスターに「１４・海の豊かさを守ろう」を選びました。理由は、サーモンのおすしは、大好きなのに、海が、ゴミで、汚れて、お魚が、とれなくなるのは、大変だと思ったからです。

海の資源を守るために、ゴミをできるだけ、出さないようにと思い、ポスターを書きました。この賞に選ばれたことを、誇りに思い、これからも、ぼくにできることを努力します。

審査員賞（優秀賞）

＜渡邉優選＞

名前：田村　心優さん

（秋田県秋田市　中学校2年生）

受賞をうけて：

私は世界で武力戦争などの不安定な環境下で生活している子供がいるという現実を知ったので、「16　平和と公正をすべての人に」を選びました。

　現在2億4千600万人以上の子供がそのような環境で生活をしています。経済的に困難で、自由に働くことが出来ず、選択肢がなく生きる為に将来危険な仕事をしなければいけない子供達がいる中、私たち日本人は平和であると言えると思います。しかし、日本でも平和という意味では保たれていますが、LGBTやジェンダーなど、今でも差別的な環境は残っています。

　公正な社会を実現できるように、起きている事実を知ったり、政治への参加をしたり、自分なりに実践をし、解決への小さな一歩を踏み出したいという思いを込めたこの作品が選ばれて、とてもうれしいです。